

サン＝サーンスと巡る passage

2021.1.30 土

第一部 14:00 開演

第二部 16:00 開演

ドルチェ楽器東京アーティストサロン“Dolce”

Live & Online Hybrid Concert



主催：S=S 2021

特別協力：ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京

第一部

見えない笛

[Fl, Fg, Pf]

UNE FLÛTE INVISIBLE Poésie de VICTOR HUGO

フルートとピアノのための
ロマンス op.37

[Fl, Pf]

ROMANCE pour flûte et piano op.37

クラリネットとピアノのための
ソナタ op.167

[Cl, Pf]

Sonate pour clarinette et piano op.167

- I. Allegretto
- II. Allegro animato
- III. Lento
- IV. Molto allegro - Allegretto

ファゴットとピアノのための
ソナタ op.168

[Fg, Pf]

Sonate pour basson et piano op.168

- I. Allegretto
- II. Allegro scherzando
- III. Molto adagio - Allegro moderato



作曲 シャルル・カミーユ・サン＝サーンス

1835年 パリ生まれ。
1837年よりピアノ演奏を開始、翌年より作曲の勉強を始める。
1846年 協奏曲2曲を含めたピアノコンサートを開催、成功を収め『イリュストラシオン』紙に掲載される。
1848年 バリ音楽院に入学、1851年最初の交響曲を作曲。
1857年 マドレーヌ教会のオルガニスト就任（～1877年まで）。

第二部

おいで！ - 見えない笛

[Cl, Fg, Pf]

VIENS! - une flûte invisible Poésie de VICTOR HUGO

うえだよう編
歌劇「サムソンとデリラ」より
パラフレーズ

[Fl, Cl, Fg, Pf]

Samson et Dalila ~ Paraphrase for flute, clarinet, bassoon, and piano
Prologue ~ Amour! Viens aider ma faiblesse!
~ Mon cœur s'ouvre à ta voix ~ Epilogue

うえだよう編 / 台本：北村勢吉

動物の謝肉祭
～ 動物学的大幻想曲～

[Picc, Fl, Alto Fl, B♭Cl, Bass Cl, Fg, Contrabass Sarrusophone, Pf, etc ...]

LE CARNAVAL DES ANIMAUX
～ Grande fantasia zoologique ～

- 1) 序奏と獅子王の行進
- 2) めんどりとおんどり
- 3) 野生ろば (すばやい動物)
- 4) かめ
- 5) ぞう
- 6) カンガルー
- 7) アクアリウム
- 8) 耳の長い登場人物
- 9) 森の奥のカッコウ
- 10) 大きな鳥かご
- 11) ピアニスト
- 12) 化石
- 13) 白鳥
- 14) 終曲



Charles Camille Saint-Saëns - Composition

1871年 C.フランク、G.フォーレらとともに国民音楽協会を設立し、フランスの作曲家による音楽の振興に努める。
同時代の若手作曲家からは「絶望的に古臭い作風」と批判を受けながらも、持ち前の頑固な性格により作風を貫き通す。天文学、生物学、絵画など自然科学から人文科学まで様々な分野に興味を持つと同時に辛辣で皮肉屋でありつつも社会的なコネクションを構築する。
1921年 アルジェリア旅行中、86歳にて没する。

1 見えない笛

UNE FLÛTE INVISIBLE Poésie de VICTOR HUGO (1888) [Fl, Fg, Pf]

私がしたための回想録「野外学校」にも記しているけど、初めてユゴーさんの詩を読んだ時の感動たるや、いかばかりだったろう！形式も構成も揺るぎなく、誠に私の求めるスタイルと一致しているのが嬉しいところだ。

声楽とオブリガートフルートとピアノのために作曲した本作品。声楽は女声を想定していたが、まあ、男声でもしばしば演奏されるようだね。しかし、ファゴットで演奏する人間がいるとは思わなかった。



Viens! - une flûte invisible
Soupire dans les vergers. -
La chanson la plus paisible
Est la chanson des bergers.

Le vent ride, sous l'yeuse,
Le sombre miroir des eaux. -
La chanson la plus joyeuse
Est la chanson des oiseaux.

Que nul soin ne te tourmente.
Aimons-nous! aimons toujours! -
La chanson la plus charmante
Est la chanson des amours.

おいで! 目に見えぬ笛よ
果樹園のもとの溜池よ
この上ない穏やかな歌は
羊飼いたちの歌。

風が揺らすカシの木の下で
水面の暗い鏡を
この上ない陽気な歌は
鳥たちの歌。

どんな悩みもあなたを苛むことがないように
私たちは愛し合おう! いつまでも愛し合おう!
この上ない魅惑にあふれる歌は
恋人たちの歌。

ヴィクトル＝マリー・ユゴー Victor-Marie Hugo (1802-1885) / 詩集「静観詩集」第2巻「今」より

2 フルートとピアノのためのロマンス

op.37 ROMANCE pour flûte et piano op.37 (1871) [Fl, Pf]

そう、ヴロワイエ君に献呈するために作曲した作品だけでも。タファネル君が、それはもう度々コンサートで演奏してくれたものだよ。

ねば、と思ってね。
私の作曲家としての評価は、いやはや時代や見方によって全く振り幅の大きなものだったよ。私は淡々と知識と美学に基づいて作品を生みだし、フランスの器楽作品の発展に尽くしてきただけなのだけど。不思議なものだ。

この年はまさに激動。フランスが戦争に敗れたことが契機となったと思ってくれて差し支え無いが、いわゆるナショナリズムの機運が高まってね。プロフィールにも書いたけれども、国民音楽協会を設立したのがこの年だった。フランスの音楽を発展させ

優美な旋律線、そして繊細に変化する調性で、我ながらこれは佳曲だと思う次第だよ。

3 クラリネットとピアノのためのソナタ

op.167 Sonate pour clarinette et piano op.167 (1921) [Cl, Pf]

I. Allegretto II. Allegro animato III. Lento IV. Molto allegro - Allegretto

まあ86歳にもなれば、レパートリーに恵まれない可哀想な楽器に対して慈悲も生まれようというものだよ。そのような楽器のためのソナタを6曲ほど作曲してやらないこともない決めて、オーボエのソナタは完了。さて次はクラリネットソナタだ。

27歳年下のドビュッシー君は11年前に、クラリネットのためのブルミエ・ラブソディとやらを作曲したようだけだね。まあ、ラブソディというのは便利な言葉だなあと思ったものだ。それに皆、私の事を頑固、辛辣と言うが、ドビュッシー君のほうがずっと身勝手な振る舞いをする人物だと思うがね。まあよい。本作品では、印象派とやらを連想させる和声でも使っておいてやろうじゃないかと思った次第だよ。ドビュッシー君よりも、もっとずっと格調高い作品だと思わないかね？

巷の作曲家は、やれフランス印象派だ、ヴァーグナーだ、なんだ、かんだと流行ばかり追い求める。私の事を「古臭い、野暮ったい」と言っている輩のことだって知っておるよ。構成美や伝統というものへの理解が欠如しているのが全く嘆かわしいものだ。

4 ファゴットとピアノのためのソナタ

op.168 Sonate pour basson et piano op.168 (1921) [Fg, Pf]

I. Allegretto II. Allegro scherzando III. Molto adagio - Allegro moderato

さあ、レパートリーの貧相な哀れな楽器のためのソナタ作曲プロジェクトもいよいよ3作目、フレンチバスソンのためのソナタだ。今や本国でもフレンチバスソンの演奏家が少なくなり、ドイツ式ファゴットが横行していると聞くので、いくら哀れな楽器とはいえないささか残念に思わないでもない。

だが、そんな事はどうでもよいのだ。隣りにいたピアニストのカゼッラ君に「あれは何の楽器かな？」と皮肉たつぷりに質問したものだ。とはいっても、1867年、実は私も同じような経験をしてる。発表した作品が問題作として演奏中に野次が飛び、場外乱闘が引き起こされたこともあったのだよ。

そもそもだよ、諸君も1913年のあの問題作《春の祭典》の初演に立ち会ったかと思うが、冒頭の不快なフレンチバスソンの書法を思い出して欲しい。あんな風に用いられてはあまりにも可哀想だ。はからずも「彼は狂っている」と私は口にしてしまったよう

それにしても、ストラヴィンなんか君のあの極めて不快な楽器法とは全く異なり、美しく表情豊かな私のこのソナタを聴いてほしい。私も人生色々あったが、規律正しく信念をもって歩み続けてきた。だからこそ Que Sera, Sera!



1 おいで! - 見えない笛 (c.1855) [Cl, Fg, Pf]

VIENS! ! - une flûte invisible Poésie de VICTOR HUGO

1888年に作曲した「見えない笛」を先程は聴いてもらった訳だが、実は20歳の時に、同じ歌詞で二重唱(ソプラノとバリトン)とピアノのために作曲しておる。それがこの作品だ。ロッシェニさんとの縁で、敬愛する詩人のユゴーさんに会った時の感動を、あと30ページ分は語りたところだ。

作曲にあたり牧歌的な雰囲気を中心にし…そう、この作品は2年間私のもとで勉強したマリーさんに献呈をした。他の歌曲もね。後に彼女も作曲家として活躍しているね。いやいや馬鹿を言っではいけないよ。彼女は単なる生徒であって。わ、私は断じて顔など赤くなつてはおらん。



2 うえだよう編 歌劇「サムソンとデリラ」よりパラフレーズ [Fl, Cl, Fg, Pf]

Samson et Dalila ~ Paraphrase for flute, clarinet, bassoon, and piano
Prologue ~ Amour! Viens aider ma faiblesse! ~ Mon cœur s'ouvre à ta voix ~ Epilogue

私はオペラも実は10数曲ほど書き残しておるのだよ。

うえだ 存じています…先生はものすごく多作でいらっしやいますね。

それにオリエントへの興味が尽きなくてね。またパリの冬は灰色の毎日だから、アルジェリアなど旅にでると心身も調子が良いのだよ。旧約聖書という壮大なテーマを扱ったこのオペラだが、旅先で得た感覚を作品にも盛り込んでおるよ。

うえだ このオペラは、有名なアリア以外にも甘美でメロディアスな良曲ばかりですね。

冒頭の音楽、デリラのアリア『愛よ、私に力を与えたまえ』、そして同じく『あなたの声に私の心は開

く』を3本の管楽器とピアノのためにアレンジしたのだね。管楽器の調和、また時にはそれぞれ奔放に走り、やがて恍惚の中に昇華するようなアレンジメント、なかなかいいじゃないか。

うえだ 先生がピアニストのコルトーに向かって『君の楽器は』と尋ねたら、彼が『ピアノです』と答えた。先生は『君、冗談言っちゃいかんよ』と言ったそうですね(笑) 辛辣にも程があります。そんな先生にお褒め頂き恐縮です。

いやいや、これでも若い頃は気さくと言われたものだよ。それに、ニデルメイエル音楽学校では若きピアノ教師として生徒にワーグナーの音楽などを紹介していたものだから、むしろ保守的どころか革新的と言われたものだ。想像つかないだろう?



Amour! Viens aider ma faiblesse!

第2幕より『愛よ、私に力を与えたまえ』

- DALILA -
Samson, recherchant ma présence,
Ce soir doit venir en ces lieux,
Voici l'heure de la vengeance
Qui doit satisfaire nos dieux.

Amour, viens aider ma faiblesse!
Verse le poison dans son sein!
Fais que, vaincu par mon adresse,
Samson soit enchaîné demain!

Il voudrait en vain de son âme
Pouvoir me chaser, me banner!
Pourrait-il éteindre la flamme
Qu'alimentre le souvenir?
Il est à moi, c'est mon esclave!
Mes frères craignent son courroux;
Moi seule, entre tous, je le brave
Et le retiends à mes genoux!

Amour, viens aider ma faiblesse! etc
Contre l'amour sa force est vaine;
Et lui, le fort parmi les forts,
Lui qui d'un peuple rompt la chaîne
Sucombera sous mes efforts!

- デリラ -
サムソンは私の住まいを探し当て
今夜必ずここにやって来るはず
今こそ、私たちの神の望んでおられる
復讐の時なのです!

愛の神よ!私の心の弱さを助けに来ておくれ!
サムソンの胸に毒を注いでおくれ!
サムソンが私の愛の手管にかかり
明日は鎖で繋がれる身となりますように!

彼は心底私を遠ざける事を祈っているだろうけど
それは無駄なこと!
心に浮かぶ想い出の炎を
彼は消し去ることができるでしょうか?
あの男はもう私のもの、私の奴隷!
あの男の怒りを、確かに皆恐れている…
しかし、私だけはこの男に立ち向かい
私の前に跪かせるのだ!

愛の神よ!私の心の弱さを助けに来ておくれ!
愛の前では、あの男の力は無きも同然
強者の中の強者
民の隷属の鎖を断ち切ったあの男も
私の情欲にはかなうはずはない!

第2幕より『あなたの声に私の心は開く』 Mon cœur s'ouvre a ta voix

- DALILA -
Mon cœur s'ouvre a ta voix comme s'ouvrent les fleurs
Aux baisers de l'aurore!
Mais, o mon bien-aimé, pour mieux secher mes pleurs,
Que ta voix parle encore!

Dis-moi qu'a Dalila tu reviens pour jamais!
Redis a ma tendresse
Les serments d'autrefois, ces serments que j'aimais!
Ah! reponds a ma tendresse,
Verse-moi, verse-moi l'ivresse!

- SAMSON -
Dalila! Dalila! Je t'aime!

- DALILA -
Ainsi qu'on voit des bles les epis onduler
Sous la brise legere,
Ainsi fremit mon cœur, prêt a se consoler,
A ta voix qui m'est chere!
La fleche est moins rapide a porter le trepas
Que ne l'est ton amante a voler dans tes bras!
Ah! reponds a ma tendresse!

- SAMSON -
Par mes baisers je veux sécher tes larmes
Et de ton cœur éloigner les alarmes.
Dalila! Dalila! Je t'aime!

- デリラ -
花々が暁の口づけで開くように、
私の心はあなたのその声を開くわ!
でも、ああ、私の愛しい方、この涙を拭拭するためには
もっとその声を聞かせて下さらなければならないわ!
さあ言って、デリラお前のもとに永遠に戻って来たよ!
もう一度かつての誓いを、
私を幸福にさせるあの言葉を私の愛に聞かせて頂戴!
ああ! 私のこの愛に応えて頂戴!
注いで下さい、この胸に陶醉を!

- サムソン -
デリラ! デリラ! お前を愛している!

- デリラ -
小麦色の妻の穂がそよ風に波打つように
私の心は愛しい
あなたの声に波打ち
そして慰められるのです!
死をもたらす矢の速さも、あなたの両腕に飛び込む
愛の速さには及びません!
ああ! 私の愛に伝えて下さい!

- サムソン -
私の口づけでお前の涙を拭い去り
お前の心から苦悩を取り除いてやりたい。
デリラ! デリラ! 私はお前を愛している!

河原廣之 翻訳・注釈・編集『対訳 サムソンとデリラ』オペラ読本出版、2017

3 うえだよう編/台本:北村勢吉 動物の謝肉祭〜動物学的大幻想曲

[Picc, Fl, Alto Fl, B♭Cl, Bass Cl, Fg, Contrabass Sarrusophone, Pf, etc...]
LE CARNAVAL DES ANIMAUX ~ Grande fantaisie zoologique

そうそう、前述のニデルメイエル音楽学校では、大教室にアップライトピアノが15台配置された恐ろしい状態でのピアノレッスンであったよ。生徒が皆、様々な曲を一緒に練習するときの混沌といたら想像してみてください…。25年もあとになり、そのような状態をおかしく思い出して動物の謝肉祭の作曲の筆を進めたものだよ。

謝肉祭最後の日、きまっでルブーク夫妻がサロンコンサートを開く。そこでユーモアに溢れた作品を披露しようと思つてね。ごく内輪のサロンコンサートだから、

ここぞとばかりに様々な作品のパロディを盛り込んでみたのだよ。うえだ君が今回、芸達者な仲間顔を思い浮かべてアレンジメントしたようにね。

そういった作品だから、生前の公開演奏と楽譜出版を固く禁じておいた。

まあ、詳しいことは演奏と共に語ろうと思う。

マメで凝り性な性格の私であるから、もちろん引用した作品や作曲意図などは以下にメモしておく。皆も読んでおくといいだろう。

1) 序奏と獅子王の行進
Introduction et marche royale du lion
[Andante maestoso - Allegro non troppo - piu allegro]
異国情緒も組み込んで作曲したオリジナル。

2) めんどりとおんどり Poules et coqs [Allegro moderato]
おんどりのモチーフには自作の交響詩《死の舞踏》を使用。

3) 野生らば(すげやい動物) Hémiiones [presto furioso]
冒頭の音進行に自作の交響曲第3番のモチーフを使用。

4) かめ Tortues [Andante maestoso]
J.オッフエンバック《天国と地獄》の旋律を使用。

5) ぞう L'éléphant [Allegretto pomposo]
H.ベルリオーズ《ファウストの劫罰》より「妖精のワルツ」、F.メンデルスゾーン《夏の夜の夢》より「スケルツォ」を使用。

6) カンガルー Kangourous [Moderato]
装飾付の和音を上下させ、描写したオリジナル。



7) アクアリウム Aquarium [Andantino]
自宅の水槽や、パリ万博の巨大水槽をイメージしたオリジナル。

8) 耳の長い登場人物
Personnages à longues oreilles [Tempo ad lib]
J.ボンゾン君の嫌味な批評をロバのしゃっくりに見立ててせいせいしたオリジナル。

9) 森の奥のカッコウ
Le coucou au fond des bois [Andante]
自作のピアノ協奏曲第2番、第3楽章の和声を使用。

10) 大きな鳥かご Volière [Moderato grazioso]
さえざり、羽ばたく鳥をイメージしたオリジナル。

11) ピアニスト Pianistes [Allegro moderato]
よくある練習曲を使用。

出演者プロフィール



ピアノ/編曲 うえだよう UEDA Yōta Piano/Arrangement

桐朋学園大学卒業、同研究科修了。声楽を村上綜、五十嵐修の各氏に師事。ピアノを当麻宗宏、金井裕、仙石裕之、松井和彦の各氏に師事。柔軟なアカンパニメントは声楽のみならず弦、管、打楽器と多くの音楽家から、またジャンルを越えてシャンソン、ポップス歌手などから支持を得ている。関わる楽曲には積極的に手を入れるのを好む事から編曲、二次創作を得意とし、唱歌などのアレンジや声楽アンサンブル、器楽曲への作編曲も多く手がけている。



クラリネット 左藤博之 Hirogumi SATO - Clarinet

北海道教育大学教育学部札幌校卒業。尚美学園ディプロマコース修了。在学中表彰、及び奨励金を授与。第7回日本クラシック音楽コンクール全国大会入賞。第1回クラリネットアンサンブルコンクールグランプリ受賞。第17回宝塚ベガ音楽コンクール入賞。文化庁主催によるソロリサイタル開催(東京/札幌)。日演連推薦新人演奏会にて札幌交響楽団と協演。指揮者としては欧州のコンクールにて三度最高位獲得。ヴァチカン市国サン・ピエトロ大聖堂にてミサを指揮。



台本 北村勢吉 Seizō KITAMURA - Script

プロデュース集団劇団北村大劇場公演『合歓』発表。劇団BBTGROOVERS設立。英国ロンドン大学QueenMerry&WestfieldCollege演劇学部卒業、また英国DesmondJonesPhysicalDrama School卒業公演をLondon.westendにて開催。京都にてCoventGardenClub設立。初演「a death of dears」で京都演劇フェスティバル優秀賞受賞。2016年撮影の澤佳一郎監督作品で脚本担当、「第1回妙善寺映画祭」最優秀作品賞、「横浜インディペンデント・フィルム・フェスティバル」短編部門最優秀作品賞を授賞。

12) 化石 Fossiles [Allegro ridicolo]
自作《死の舞踏》より「骸骨の踊り」、G.ロッシェニ《セビリアの理髪師》より「ロジエナのアリア」、その他フランス民謡「大事なタバコ」「きらきら星」「月の光に」「シリアへの出発」

13) 白鳥 Le cygne [Andantino grazioso]
オリジナル。偉大なるパレリーナ・A.パブロフ嬢の強い要請に根負けしたので、唯一この曲だけは生前の公開演奏と楽譜出版を許可するものとする。1905年の「瀕死の白鳥」は誠に不朽の名作。

14) 終曲 Final [Molto allegro]
お祭り騒ぎの締めくくりに、これまで登場した動物たちが再登場だ。Jouissez de la vie!



フルート 鈴木舞 Rina SUZUKI - Flute

日本大学藝術学部音楽学学科管打楽器コースを首席で卒業。優等賞、学部長賞を受賞。同大学院修了。日本フルートコンヴェンションコンクール2007・アンサンブル部門第1位。フルートアンサンブル・トリプティックとして2枚のCDアルバムをリリース。フルート・ファゴット・クラシックギターによる室内楽TriOrganic(トリオーガニック)メンバー。現在、多彩な演奏活動を展開する傍ら、特別支援学級における音楽教育にも携わっている。



ファゴット 宮崎寿理 Ryo MIYAZAKI - Fagotto

北海道教育大学教育学部札幌校卒業。東京藝術大学別科修了。99年日本クラシック音楽コンクール第3位。現在、藝大フィルハーモニア管弦楽団、横浜シンフォニエッタ、シアターオーケストラトーキョーのファゴット奏者を務める傍ら、日本各地のオーケストラに客演。音楽祭出演、室内楽、スタジオ録音、後進や愛好家の指導等の分野でも活躍している。フルート・ファゴット・クラシックギターによる室内楽TriOrganic(トリオーガニック)メンバー。



朗読 港幸樹 Koki MINATO - Recitation

北海道小樽市出身。北海道教育大学札幌校小学校課程音楽科卒業。在学中は指揮者として活躍。卒業後、劇団四季を経て現在は舞台・映像・イベント・吹き替え等、俳優として幅広い活動を続ける傍ら、劇団・専門学校、企業研修などで、ボイスカウンセラーとしてのトレーニングも展開しており、NPO法人JOY KID'S THEATERでは10年以上にわたって音楽監督・歌唱指導を務めている。主な出演作は、舞台『ライオンキング』『オペラ座の怪人』『エリザベート』『モーツァルト!』『レ・ミゼラブル』『マイフェアレディ』、TV『花燃ゆ』『越路吹雪物語』、CM『タマホーム』など。